

## 第一節 神の手の中で命を

### 命の無限の尊さを悟って

#### 万物の存在の証しは運命

悠久の時の流れの中で、無数の命が生まれては閉じ、閉じては生まれています。この生命循環をつかさどり、森羅万象を操られているのが、大山祇命です。万人万物の命は、運命を授けてくださる大山祇命の手の中で導かれているのです。その真実、真理を、神は神示を通してこのように表されています。

神 示

万人 万物——この世の全ての動き 神の手の中 導かれている

万物の存在 証しは運命

神が与えし命運命の中で 互いに影響し合って 世時代は動く

この世の仕組み 「真理」気付いて 我が運命生かす心努力がほしい

「道の真理」に生きるなら

人は誰も神の手の中守られて 我が身人生の存在 その価値が見えてくる

見えし者は 努力が生きる

実りを付けて 生きがいある人生 手にできる

#### 時代の流れの中で生まれて閉じる

全てのものが、神から与えられた運命の力で互いに影響し合い、時代の流れを生み出しています。それが、この世の仕組みです。人もまた、時代の流れの中に生まれ、仕合せを求めて生き抜く存在と、神はお教えくださいます。

この真実、真理を心に留めて、神が説かれる教え、三筋の道の真理に生きていくことです。自分の存在の証しである運命に導かれていけば、各自の能力や良さが生かされて、誰もが生きがいのある日々を歩んでいくことができますのです。

#### 人の誕生の真実

生まれては閉じていく数限りない命、その一つ一つに存在意義があります。とりわけ、人の命ほど尊いものではありません。あらゆる命を生かして、この世界を調和の取れた環境にするために、神から万物の霊長として世に貢献する力を授かって生まれてきているからです。

神は、誕生に合わせて、一人一人の肉体に魂を宿されます。人知を超えた、神の手の中で計られる人の誕生、その真実を、神は次のように示されています。